

## みちしるべ

みずからのために道しるべを置きみずからのために標柱をたてよ (エレミヤ31:21)

## 人になれ 奉仕せよ

聖句 : 今日、ダビデの町であなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシヤである。  
( ルカによる福音書 2:11 )

- 保育目標 :
- 0歳児 ・保育者と共にクリスマスを楽しんで待つ。
  - 1歳児 ・クリスマスを楽しみに待ち、友だちや保育者と一緒に喜ぶ。
  - 2歳児 ・クリスマスの雰囲気を楽しむ。自分の思いを友だちや保育者と共有する経験をする。
  - 3歳児 ・クリスマスの意味を知り、嬉しい気持ちで待つ。寒さの中でも戸外で遊ぶ。
  - 4歳児 ・イエスさまの誕生を喜び祝い、周りの人たちと分かち合う経験をする。
  - 5歳児 ・クリスマスを感謝と喜びをもって受けとめる。困っている人や悲しんでいる人に心を向け自分たちのできることを考えていく。

9月以降、子どもたちといくつかの行事を体験しました。六浦こども園まつりから始まって各学年(幼児クラス)の遠足を終え、今はアドベントを子どもたちと一緒に歩んでいます。大きな行事は日頃、子どもたちが経験している事や興味関心のある事を土台にして計画しています。9月、こども園まつりでは年長の子どもたちが飾りつけや準備などで力を発揮しフィールドデイでは各学年の興味のある事や面白がれる事を子どもたちと考えて行いました。

10・11月、乳児さんたちはロケット公園や室の木キャンパスへ少し足を延ばして遠出のお散歩に行き、幼児さんたちは散歩や外グリーンでの経験を活かして遠足に出かけました。特に、年長の子どもたちは時間をかけて行き先を決め、その場所で何をしたいのかも話し合っていました。育つ力は子どもたちの中にあるのです。私たちは、まず子どもたちに聴くことから始めていこうと考え、日々の生活の中でそれをとても大事にしています。

今年も早いもので12月を迎えます。エントランスのけやきもすっかり葉を落とし、今はイルミネーションで着飾られています。また、庭の木々は葉の色を変えたり落としたり…と冬の装いに変わってきました。朝露が降りて庭の遊具が濡れている朝が増えました。朝露が霜柱に変わる日も近いのではないのでしょうか。

4週間かけてクリスマスの準備をするアドベント。こども園のあちらこちらに少しずつ飾りが増えていきアドベントカレンダーが一つずつ開けられ、子どもたちのところにゆっくりクリスマスがやってきます。そうです、『ゆっくり』ということが大切なのだと思えます。お祭り騒ぎのように派手に賑やかではなく、静かに優しく心の中に訪れるのがクリスマスなのでは…それはクリスマスが『愛の贈り物』私たち一人ひとりに届く贈り物(=イエス様)だからです。アドベントでは、クランツ4本のローソク1本ずつに火が灯っていきます。そして、クリスマスの物語が子どもたちに語られます。初めは、何のことなのかと不思議そうな顔をしている乳児さんや年少さんもローソクの光が増えていく中で段々と喜びの表情に変わっていくのです。また年中さんや年長さんは物語の中にある神さまの愛を感じているのでしょうか。遊びの中でクリスマスの賛美歌を口ずさみ、いつの間にか賛美の輪ができていく子どもたちの姿を目にする時、それを感じます。私はそっと神さまに「子どもたちの心にあなたの愛が届いて、夢や希望を抱くことができる目に見えないものを信じる力をありがとうございます」と祈ります。そして、世界中の人々とクリスマスの喜びを分かち合い、2023年は互いを大切に想い合う平和な世界が訪れますようにと願います。

年末年始こども園は休園となります。どうぞご家族で良い時をお過ごしください。

園長 鈴木 直江